

国民大運動行動報告

第047号
2020年
11月19日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第203臨時国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 11・18 定例国会行動～

国民の権利への弾圧は許さない！



主催者を代表して挨拶をおこなう安保破棄中実委の東森英男事務局長（写真左より4人目）

41日間と会期の短い臨時国会も終盤に迫る11月18日、三者共催による第2回目の定例国会行動が衆議院第2議員会館前にておこなわれました。多くの反対の声があがっている種苗法改定案をめぐることは、前日17日に衆院農水委員会で可決され、19日の本会議を経て参議院に送られる見通しです。11月とは思えぬ暖かさのなか、全教の山田真平中央執行委員による司会のもと150人が参加。社会保障制度の拡充を求める請願や種苗法改定案の廃案を求める請願など134,265人分の署名が藤野保史衆議院議員を通して提出されました。学術会議任命拒否問題やコロナ対策など、憲法違反をおこない国民のいのちと暮らしに背を向ける菅政権に、参加者は怒りの声を上げました。

主催者を代表して挨拶をおこなった安保破棄中実委の東森英男事務局長は、学術会議任命拒否問題で「菅政権の反民主主義、反憲法の本性が一段と明らかになった」と指摘。種苗法改定案は「農家の皆さんの営みを踏みにじるものであり、断固抗議する」と表明し、政府のすすめる辺野古新基地建設やオスプレイ配備、馬毛島への基地建設などやめさせ、コロナ対策など「国民のいのちと暮らし、憲法を守り生かせる運動を広げ、市民と野党共闘の力で菅政権を打倒しよう」とよびかけました。

国会情勢報告をおこなった日本共産党の藤野保史衆議院議員は、新型コロナウイルス感染が急拡大し重大な局面だとし、保健所など検査体制の拡充や医療機関対策など予算の徹底と実行、先手の対策を求めていくと表明。井上担当相が梶田会長に軍事研究を検討するように伝えたとする、前日の答弁を報告し、「学会会議任命拒否問題と戦前の滝川事件は極めてよく似ている」として「皆さんとともに『国民の権利への弾圧は許さない！』の声をあげ、悪法を許さず全力でたたかう」と決意を述べました。



参加者を代表して、全農協労連の宮崎陽子さんは、種苗法改定案の廃案を求める請願署名を手に「この署名には、生産に関わるすべての人たちからの、同じ権利を保障してほしいとの切実な思いが込められています」と訴え、藤野議員に託しました。

参加団体を代表して、3名の方々が決意表明をおこないました。



全国食健連の館野豊事務局長は、種苗法改定案が自民・公明・維新・国民の賛成により可決されたことに「種子は日本の食文化、命の源。国民共有の財産である種子の未来をたった5時間の質疑と2時間の参考人質疑で通過させたことに満身の怒りで抗議する」と表明。種子の海外流出を防ぐためとの名目に「農家の『自家採種』禁止と企業が儲けやすい構造をつくり、種子を海外企業にとられ『流出促進』にもつながる」と批判。「参議院での徹底審議を求め最後まで諦めずにたたかう」と決意を述べました。



憲法共同センターの高橋信一さん（憲法会議事務局長）は、「菅政権は自民党改憲推進本部の顧問に党内7つの派閥すべての会長を起用し、拳党態勢で改憲を実現させようとしている」とし、さらに公明、維新だけでなく国民民主にも野党分断の改憲への動きかけをおこなっていると指摘。「19日と26日には審査会が開催されるが、国民は改憲を望んでいない。『審査会は開催するな』の声を大きくして改憲を阻止しよう」と呼びかけ、また、憲法違反である敵基地攻撃問題のリーフの活用も求めました。

全教の波岡知朗書記次長は、「めざせ20人学級」プロジェクトのとりくみや文科・財務省前で昼と夜に宣伝行動をおこなっていると、「コロナ禍で突然全国一斉休校が押しつけられ、その後分散登校等により、子どもたちや教職員、保護者も少人数学級の良さを体験した」と報告。自治体独自の少人数学級をすすめているところもあるが財政状況は厳しいとし「国の責任で、すべての子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障する少人数学級が実現されるよう奮闘する」と決意を述べました。



中央社保協の山口一秀事務局長は、今回の提出署名や引き続きとりくまれている署名について「署名は私たちの要求であり声であり光。最後まで奮闘して、地域の声を国会に届けよう」と呼びかけました。さらに、菅政権が引き続き社会保障抑制政策をすすめるなか、社会保障拡充のためにいのちを守る署名、目標300万人にとりくんでいること、後期高齢者の窓口負担2割化は何としても撤回させるなど、決意を述べるとともに行動提起をおこないました。



おしまいに、国公労連の森慧佑中央委員のコールにより、感染防止のために参加者は唱和せず「軍事費を削って、コロナ対策にまわせ！」など、国会に向けてこぶしを高く掲げました。

今後の定例国会行動の予定

- ◆12月2日
- ◆12:15~13:00
- ◆衆議院第2議員会館前

今後のとりくみ予定

- ◆11月22日(日) 13時~ オスプレイいらない東京大集会 福生市多摩川中央公園
- ◆11月25日(水) 10時30分~ 介護署名提出 11・25国会行動 参議院会館 B104
- ◆11月25日(水) 13時30分~ 被災者切り捨て許さな! 国の責任で復興を! 国会行動
衆議院第1大会議室 全国災対連
- ◆11月25日(水) 11時~ 日米地位協定の抜本改定を求める署名国会提出行動
衆議院第2 第2面談室
- ◆12月4日(金) 13時30分~15時30分
「敵基地攻撃」と大軍拡に反対する 12.4学習会 衆議院第2議員会館・多目的会議室
(実行委員会) 憲法共同センター、安保破棄実行委、憲法会議、平和委員会、国民大運動

